いいやま
社協だより
No.302
発行・編集：社会福祉法人
飯山市社会福祉協議会
〒389-2253
長野県飯山市大字飯山1211－1
電　話：0269-62-2840
ＦＡＸ：0269-62-2904
平成22年（2010）3月15日発行
URL：http://www/iiyama-catv.ne.jp/~s.fukusi/
MAIL：s.fukusi@iiyama-catv.ne.jp

いよいよオープン!!

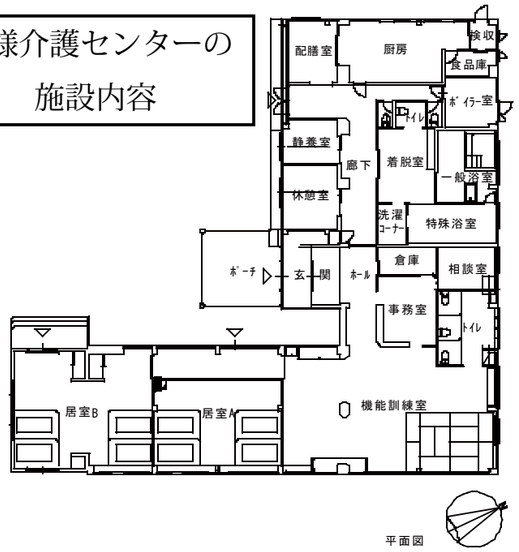
## 外様介護センター

3月14日（日）午前10時30分、石田正人飯山市長、佐藤正夫飯山市議会議長、岸田勉飯山市社協会長などのご出席のもと、旧外様保育園を利用した「外様介護センター開所式」が行われました。

同日午後1時30分より一般公開が行われましたが、センターの施設内容は左にあるとおりです。

市民の皆様にかわいがっていただける施設運営をめざしたいと思いますので、宜しくお願いします。

外様介護センターの施設内容



平面図

輝く高齢者応援事業

## 〝湯の入塾〟修了証授与式

2月24日（水）、老人福祉センター「湯の入荘」で、「輝く高齢者応援事業〝湯の入塾〟修了証授与式」と、太田地区・高源院住職の江沢一遠（いっおん）先生による講演、「人生、『シロ』が大切」等が行われました。

授与式では、名誉塾長の石田飯山市長が、該当者に対し修了証が直接手渡しました。

石田名誉塾長は、中高の施設を含む「子育て支援」、そして観光、農業、更に新幹線工事関係の進捗状況などのお話をされ、最後に「皆さん、これからも健康で湯の入荘に来てください」と、非常に力強く、頼もしいお言葉で締めくくられました。

続いて飯山市老人クラブ連合会の「一円玉募金」の贈呈式が行われました（右の写真参照）。

13万3791円が、小林・市老連会長から石田市長に渡され、市長は「福祉のために使わせていただきます」とおっしゃいました。

江沢先生の講演では、『のりしろ、縫いしろと、〝しろ〟にはいろいろあるが、それは「何かのために用意しておくもの」の意。人間にも〝しろ〟がある。昔はカンジキで雪を踏んで道を作った。その時に「ひとカンジキ余計に踏め」と言われた。これも〝しろ〟のひとつ。皆さんも、地域や社会のために〝しろ〟を伸ばしてください。』とのお話でした。

石田市長より代表者に授与

おもしろくてためになる江沢先生の講演

湯の入塾
修了証授与式

岸田・社協会長あいさつ

一円玉募金の贈呈

携帯電話でアクセス



## 雪掘りどうど塾

2月6日～7日にかけて、富倉地区活性化センターを会場に『雪掘りどうど塾』が行われました。

この事業は、平成18年度豪雪の経験から、ボランティアによる除雪支援体制の整備や、日頃の高齢者等の見守り・助け合い活動の必要性、この地域との交流を目的に今年で4回目を迎えます。

今回参加者は、東京都、千葉県、埼玉県、山梨県、愛知県から来られ、地元の役員を中心に行われました。

1日目は、岳北消防本部による「ＡＥＤ講習」や基本的な除雪体験が行われました。2日目は、実際に3件のお宅に、3グループに分かれて除雪活動を行いました。

参加者からは、「説明やご指導が分かりやすくて道具もすぐに使いこなすことが出来ました。また、交流会では誰もがとても親密に接して下さり、非常に楽しい時間で、本当に貴重で良い経験ができました。この経験をどこかで活かせたらいいと思います。」、「学生が多く参加していましたが、夜の交流会を含めて高齢者集落の地域のつながりの大切さ、お互い様という人々の温かさを改めて感じる事ができました。雪掘り経験の無い方、地域外の方に除雪ボランティアをお願いする習慣が無い中、人とのつながりを持てる機会として今後も続けて欲しいと思います。」などの声が聞かれました。

ＡＥＤ講習の様子

降雪の中の雪掘り

## 『福祉避難所』を考える

福祉避難所とは、『心身に衰えのある高齢者・障がい者・乳幼児等、避難所での生活において特別な配慮（身体的なケアやコミュニケーション支援等）を必要とする方々を収容し、保護する施設』と定義されています。（「避難所マニュアル策定指針」長野県 平成15年3月より抜粋）

いざ大規模な災害が起きた時に、要援護者のためにどんな「避難所」が必要か、関係機関と連携しながら考える場として、飯山市社会福祉協議会では、『福祉避難所について考える学習会』を開催します。次号にて様子をご紹介致します。

県総合防災訓練（伊那市 10/25）での「福祉避難所」設置訓練の様子（下の写真）

## 子育て応援情報

飯山市社会福祉協議会では、子育て支援の一環として共同募金の配分金により、飯山市内で子育てサロンの活動をしている団体・グループに対して活動費の助成を行っています。

平成22年度においても助成を受付しますので新たに子育てサロンを開く予定の団体・グループ、または現在活動中で活動費の助成を希望される団体・グループは、下記要件をご確認の上、お申し込みください。

また、申請団体へは助成申請説明会を行い、サロン間の交流会を実施する予定です。

**要件**：５名以上で構成され、新たに子育てサロンを立ち上げる団体、または現在活動している団体・グループにあっては先進的な事業を行うサロンに対し、活動実績に応じて年間上限 50,000 円まで助成します。

・申請が必要となりますので、ご希望の方は飯山市社会福祉協議会（☎62－2840）までお問い合わせください。

外様地区子育てサロン　ふれあいサークルドレミ